

○ 次回(第12回)の検討会では、本検討会の第3次とりまとめ(案)について議論を予定。

※ 各項目名は仮題

1 はじめに

- ・ 背景、検討会の設置趣旨、第2次とりまとめまでの経緯など

2 2050年の社会の姿を見据えた上下水道政策に関する論点

- ・ これまで議論した上下水道の基盤強化の取組を踏まえつつ、気候変動や食料・経済安全保障への対応、技術革新、国際貢献、さらには社会ニーズの高度化・多様化といった新たな諸課題を見据え、今後上下水道の果たすべき役割・使命を提示

3 社会情勢の変化と多様な要請に応える持続可能な上下水道への転換

- (1) 持続可能な経営と一体となった上下水道の脱炭素・資源利用
- (2) 流域全体を俯瞰した全体最適による持続可能な水循環の実現
- (3) 我が国の強みを活かした水分野の海外展開と持続可能な国際協力
- (4) 技術開発とイノベーションで切り拓く持続可能な上下水道の実現

第2次とりまとめ以降に議論した内容

4 2050年の社会を見据えた今後10年間の上下水道政策の方向性

- (1) インフラマネジメント
 - i) 強靱化
 - ii) 集約型・分散型のベストミックス
- (2) 運営基盤の強化
 - i) 広域連携
 - ii) 官民連携
 - iii) DX・技術開発
 - iv) 経営
 - v) 人材
- (3) 持続可能な社会の構築に向けた取組
 - i) 脱炭素・資源利用
 - ii) 水循環・水環境の全体最適
 - iii) 水ビジネス海外展開・国際協力

第1～11回検討会の
総まとめ

5 おわりに